

日本歯科色彩学会

「色 彩」

NEWS LETTER 第14号

1997年5月1日発行

事務局 日本歯科色彩学会

〒101 東京都千代田区神田駿河台 2-1

廣瀬お茶の水ビル 4F

(クインテッセンス出版株式会社内)

TEL 03-3292-3691 FAX 03-3292-3639

発行者 橋口 緯徳

(第14号担当: 神津 瑛、河野 篤)

北京医科大学第二臨床医学院に歯科色彩研究所が 設立される

片山伊九右衛門

日本における歯科色彩学と同じように中国でも、いまだ産業界に比べて歯科では色彩学の研究は立ち遅れている。明海大学に留学した多くの研究員は、この点を理解しているが設備の方面で手をこまねく以外方法がなかった。

そこで、北京医科大学第二臨床医学院口腔科の高承志先生が日本で博士(歯学)獲得した機会を受け、同大学は片山伊九右衛門明海大学名誉教授とともに、1997年4月から北京において歯科色彩研究所を設立した。

当面の活動は高承志博士が日本で学んだコンピュータカラーサーチ(CSS)とコンピュータカラーマッチング(CCM)の研究を続ける予定であるが、それは中国で輸入に頼っている陶材の国内製造に向けての研究である。また中国の歯科大学に向けて歯科色彩学研究的指導を始めるとともに、アジア諸国に向けて試料の測色を受注する予定である。それは多くの大学でそれぞれ測色計を揃える無駄を省き、測色値を提供

出来ればと思っている。

日本-北京間の郵便代は非常に安く、また早いので、いずれ日本にも手を伸ばし、正確な測色値を提供できればと思っている。

ご関心のある場合は連絡ください。

〒100044 中国北京市北礼路 4 2

北京医科大学人民医院

(第二臨床医学院)

口腔科 色彩研究所

主任教授 夏 善福

所 長 片山伊九右衛門

FAX 001-8610-6831-8386

第2回国際歯科審美学会、第8回日本歯科審美学会が 京都で開かれる

橋口 緯徳

第2回国際歯科審美学会が第1回イタリア・フィレンツェに続き、京都の国際会議場で4月4日から6日まで開催されました。日本歯科審美学会は第8回を迎え、併催され「歯科審美の世界は一つ」をテーマに20数カ国の歯科医が、京都に集まり、大々的に華やかに幕が開かれました。時あたかも花の最も美しい時期、花の都京都での開催は時を得たといえましょう。会場の国際会議場も、池を前にした、整備された庭を持ち、簡素にして重厚な建物に、満開の桜と美しい深緑はいやが上にも人の心を和ませ、古都の美を香ばしく漂わせてくれます。

この第2回国際歯科審美学会の会長、大会長は丸山剛郎教授で日本歯科審美学会の会長は平沼謙じ教授であり、両先生を始めとして本大会の準備委員の先生方のご苦勞がしのばれました。内容も基調講演、文化講演6題、特別講演31題、シンポジウム6題、一般講演63題、ポスターセッション49題と多く、その他に歯科技工士セッション7題、歯科衛生士セッション9題が加わりました。その上一般向けとして、京都市北文化会館に所を移して、市民フォーラムが行なわれました。参議院議員の池坊保子さ

んを始めとして文化人8人が講演のチューターを務めました。初日3日(木)夕のウェルカムレセプション、5(土)夕のガラディナーパーティーも、そつなく盛大に開かれました。学会のご挨拶からこの学会の趣旨をピックアップしますと、「歯科審美はより快適で美しく豊かな生活を求める現代人のライフスタイルの変化がもたらした考え方に即応した、歯科の新しい分野であり、社会の要求は口腔の美、健やかな美、そして幸せ感への追求と移り変わりつつあるそのニーズに応えるべく生まれ出た訳であります。歯科審美の根底にあるものは、即ち自己改造の欲求であり、精神的な幸福をもたらすための美の追求であります。こうした人間のあくなき夢実現のため、歯科の分野においてもより高度な研究とその成果が望まれるわけであります。」

残念ながら今年の学会は、3日とも雨で、お花見の満足度は八割がたでありましたが、雨にけぶる京都もまた良いものでありまして、今更ながら、環境保全、自然保護の必要性を痛感した次第です。余談ながらつけ加えさせていただきます。

色彩関連データベース

元呑 昭夫

日本歯科色彩学会の会員にインターネットを通じて歯科と色彩関連の論文抄録データベースを試験的に配布しています。インターネットを利用する人が多いという事ですが、wwwでホームページをみることに限られているように思われます。このように感じているのはFTPを使って文書、データ、画像の送受信をしているということがほとんど起こらないからです。FAX文書はコンピューター通信機能を使って綺麗な画質で送信できるため利用率は高いため

使えますが、その他で使うための通信プロトコルの設定が厄介なためではないでしょうか。歯科の色彩文献データベースはこうした問題を解決していきながらインターネットをもっと活用する方法を考えて進めています。会員の皆様にもぜひ一度ご相談ください。尚、インターネットのホームページは臨時に下記の場所に設けられています。

URL <http://www.jah.or.jp/colorlan/JACD.htm>

第8回 国際色彩学会 京都大会 AIC Color 97 Kyoto

元呑 昭夫

色彩に係る国際大会が、4月と5月に開催される場所が重なった。4月5日(土)と6日(日)に行なわれた国際歯科審美学会は桜が咲き、雨の降りつづく京都の国際会議場で無事終了した。続いて5月25日(日)から30日(金)の期間に行なわれる予定の第8回国際色彩学会京都大会は、4年に一度開催される国際大会である。主催は国際色彩学会と日本色彩学会で、前回のハンガリー国際大会から引き継がれている。色彩に関する国際的取り決めはめまぐるしく、特に認知情報処理に関する研究発表は色の見えに及ぼすため目を離せないのが現状であるため、各研究機関、メーカーも必死である。今回のプログラムは、特別講師に平山郁夫(前東京芸術大学学長・日本画家)による「日本の色と質」があり、招待講演として、Carol M Cicerone「動きからの色知覚」、Donsoh Park「環境デザイン番おける伝統色と地方色」、Joel Pokorny「異なる形質を持つ遺伝子をもった色覚異常者の視機能」無、Osvaldo da Pos「色の錯色」、John Verri「表面色の測色精度の向上」、Lars Sivik「NCS表色系—理論、開発、応用」の6件がある。シンポジウムは「色の認知とマシンビジョン」と題して、色の

認知に関する最近の研究を心理物理学的、神経生理学的、計算論的視点から総合的に討論する予定になっている。色彩学は学際的であることを改めて感じる内容との一般講演とポスター発表が会期中予定される。

また、会期中にテクニカルツアーをミノルタ豊川管理センターと大日本スクリーン製造(株)及び1996年に設立された電気通信分野における基礎的・独創的研究拠点としてATR(人間情報通信研究所、知能映像通信研究所、音声翻訳通信研究所・見学)で行なわれる予定がある。国際大会開催時に同時に行なわれるAIC総会、AIC理事会、国際照明委員会(CIE)第一部会議、ICC(International Color Consortium)など国際大会を利用した各種会議にも参加できる。最後に参加申し込みは、

〒600 京都市下京区塩小路通新町西入
新京都センタービル

(株)ジェイコム コンベンション事業本部
第8回国際色彩学会事務局

電話 075-341-1618 FAX 075-341-1917

なお、ホームページは下記の通りとなっている。

<http://is804.tech.chiba-u.ac.jp/AIC97/>

ACIプログラムについて

元呑 昭夫

最終的なプログラムが発表になり、歯科の色彩に関する発表は、次の2題です。

5月30日(金) A会場「測色3」

Lozano, R D

[Color of Teeth]

発表時間 9:40~10:25の間に3題あり、

その3番目で10:00頃の予定

5月30日(金) G会場「色空間」

元呑昭夫、片山伊九右衛門、他3名

「歯冠色票体系の修正」

発表時間 9:40~10:25の間に5題あり、

その4番目で10時過ぎの予定

参加希望者は4月15日以後は

一般 7000円

詳細は 075-341-1618

学会事務局にお問い合わせ下さい。

